



令和8年度 事業計画・予算案

1 事業方針 NAZE NEXT VISION ～長岡のものづくりは新たな未来へ～

予測困難で変化の激しい時代にあって、持続可能な経営、販路・事業の拡大に挑む企業を支援し、未来を担う人材育成に注力することにより、長岡地域のものづくりの未来を切り拓き、次の世代にバトンをつなぐ「NAZE NEXT VISION」元年と位置付け、以下の3つの柱で事業を構成する。

1 DXの推進や外国人材の活用、企業人材の育成による経営支援

- (1) 各社の実情に寄り添い、AI等の最先端技術を活用したDXをきめ細かく支援
- (2) モンゴル高専等の高度な知識を有する外国人材の活躍を支援
- (3) 多様なテーマのセミナー等によるリスキリングの支援

2 長岡ものづくりブランドの向上、学術機関との連携等による販路・事業拡大の支援

- (1) 地域と企業のプロモーションやブランディングによる販路・事業拡大の支援
- (2) 学術機関やスタートアップ等との連携による事業拡大の支援
- (3) 高等教育機関と連携した研究・開発等による地域と企業の発信力強化

3 未来を担う次代のものづくり人材の育成

- (1) ものづくりを体験したり学んだりする機会の提供
- (2) 長岡地域やものづくりの魅力を伝えるコンテンツの制作・活用

2 予算編成方針

1 事業を推進に十分な財源確保に努める

【参考】令和7年度予算(歳入) 8,133万4千円

- ・長岡市補助金 3,897万円
- ・長岡商工会議所負担金 280万円
- ・会費(法人・個人) 1,182万円 ほか

2 事業の見直し(スクラップ&ビルド)による増額の抑制

- 主に中小製造業を対象にNAZEだからできる支援事業に重点配分する
- 事業費の増額を見込む場合は、他の事業にかかる費用を減額してあてる

3 他団体と目的や対象が重複する事業の廃止による削減

- 県、市やNICOなど、他団体の補助事業を積極的に活用する
- ※ プラットフォームとしてコーディネート機能を高め、他団体事業の活用を支援

2

3 事業概要（ポイント）

現在の経済情勢、社会課題と地域産業の未来を見据え、主に中小製造業を対象にNAZEだからできる有効な事業となるよう、既存の全事業について、抜本的に見直す。

1 DXの推進や外国人材の活用、企業人材の育成による経営支援

(1) 各社の実情に寄り添い、AI等の最先端技術を活用したDXをきめ細かく支援

- 【新規】 情報セキュリティ対策の支援
- 【拡充】 AI活用の支援(AIダンジョン活用拡充など)
- 【拡充】 デジタル化なんでも相談(長岡アイティ事業協同組合との連携協定による拡充)

(2) モンゴル高専等の高度な知識を有する外国人材の活躍を支援

- 【継続】 JICA草の根技術協力事業(地域活性化型) ※ 3年目/3か年補助事業
新潟・モンゴルの産業変革を担う産業DX人材育成プラットフォームの構築
- 【新規】 高度外国人材の雇用、生活に要する支援

(3) 多様なテーマのセミナー等によるリスキリングの支援

- 【新規】 会員企業の若手社員が企画した事業の実施(若手ワーキングチームの運営)
- 【継続】 関心の高いテーマでセミナーを開催

3

2 長岡ものづくりブランドの向上、学術機関との連携等による販路・事業拡大の支援

(1) 地域と企業のプロモーションやブランディングによる販路・事業拡大の支援

【新規】「ものづくりのまち長岡」のプロモーション強化 ※長岡市連携事業

【継続】 展示会出展補助等による販路拡大の支援

【継続】 企業PRコンテンツ制作等によるブランディング支援

(2) 学術機関やスタートアップ等との連携による事業拡大の支援

【継続】 チャレンジ事業、ステップアップ事業の見直し

(3) 高等教育機関と連携した研究・開発等による地域と企業の発信力強化

【新規】 学術研究の企業協力を支援し、研究成果を発信

【継続】 チャレンジ事業、ステップアップ事業の見直し(再掲)

3 未来を担う次代のものづくり人材の育成

(1) ものづくりを体験したり学んだりする機会の拡充

【新規】 長岡市内小中学校の出張授業による体験・学習の検討

【新規】 オープンファクトリーの実施を検討 ※長岡大学との連携

(2) 長岡地域やものづくりの魅力を伝えるコンテンツの制作・活用

【新規】 子ども向けコンテンツの制作・活用

【新規】 長岡教育情報プラットフォーム「こめぶら」の活用を検討